北海道社会
事業協会
2022.1.1
vol. 11

洞爺協会病院
広報誌 とうやこ

特集

新型コロナ
～手洗いうがい免疫力

内科部長 赤松 和夫

洞爺協会病院 患者サービス向上委員会 今月の飾り付け

インターンシップ 高校生職業体験

About Photo

写真は病院敷地内にある中庭のイルミネーションです。今年は患者サービス向上委員会として初めての取り組みです。
色とりどりにライトアップされたミニ洞爺湖の様子を冬の間毎日患者さんに楽しんでいただきます。
点灯は令和４年２月 28 日までの毎夜午後４時半から９時までです。

特集

新型コロナ～手洗いうがい免疫力

内科部長　赤松　和夫

あけましておめでとうございます。今年も皆様お元気で過ごしていただき私達医療関係者に楽をさせていただけるよう宜しくお願い申し上げます。

さて、緊急事態解除以降患者数が激減し…ているのに北海道ではなかなか減らない中、3回目のワクチン接種も迫ってきた新型コロナですが、皆様もだいぶ気が抜けて新年を迎えられているのではないかと思います。一方ドイツでは本日(令和3年11月下旬)6万8千人の新規感染者とブレークスルー感染(ワクチン接種しても罹ってしまう)が問題になっています。それでも死亡率がかなり下がっているのはワクチンの効果でしょうか。いずれにせよ新型コロナを「撲滅」する手段はなく、うまく付き合うその付き合い方が今後問題になっていくのだと思います。「ウィズコロナ」の響きも様々ですがそれは決してノーガード戦法ではなく、マナーとしての予防策すなわちマスク手洗いうがいを「常識」として定着させるしかないと思っています。

次の「第6波」がくるまではそんな常識を守りつつ多少気を抜いてもよいかと個人的には思っています。ずっと気を張り詰めたままでは疲れ切ってしまいますから。今回はそんなゆるい話ができればと思います。

さて「免疫力」という言葉がありますが、これは医療関係者にとっては非常に難解で哲学的で分厚い教科書を何冊読んでも結局理解できない(俺だけ?)概念だったりします。今回はそのカケラだけでも紹介できれば。

自分が自分であることは自分でないものから区別することで証明されます。何を言っているかわからないと思いますが大丈夫、私もよくわかりません。しかし自分の(そして皆さんの)身体はよくわかっています。

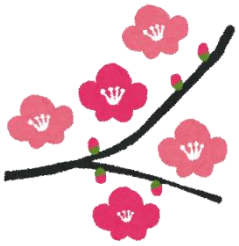
身体の外からバイキン(自分ではないもの)が攻めてきたときバイキンをやっつける仕組みがあり、これを免疫と呼んでいます。いちどやっつけたバイキンは身体が覚えておき次は迅速に排除します。この仕組みを利用してバイキンによく似たワクチンを接種して身体に覚えさせます。

この「自分とそれ以外」の境界がずれてしまったものが自己免疫疾患で免疫が自分の身体の一部を自分でないと認識して攻撃してしまいます。逆にウイルスを自分の一部と勘違いしてずっとウイルス感染が続いてしまう病気もあります。癌は、最初から(免疫にとって)自分そのものなのが治療が困難な理由です。

生まれたばかりの赤ちゃんにはこの免疫がほとんどありませんがカゼをひくことは稀です。今までにカゼをいっぱいひいてきた母親の母乳に免疫が含まれているからです。ところが6ヶ月を過ぎた頃から母乳中の免疫は減少しますがこれは赤ちゃんの免疫が育ち始める時期と一致しています。母乳からの免疫がなくなると赤ちゃんはいろいろなウイルスの顔を覚えて自分の免疫で対処しなければなりません。「カゼをひいて免疫をつけるのが子供の仕事」と前回お話ししたとおりです。重いカゼになるものには大概ワクチンが準備されているのでワクチン接種も大事です。また免疫をつけるためにはカゼに対処できるだけの体力が必要であり、普段から元気で過ごすことも大事です。このカゼをひいてはね返す体力まで含めた免疫が「免疫力」と呼ぶものではないかと思っています。子供にとってはただのカゼなのに大人になってからかかると入院が必要になるほど重い症状が出るカゼもあり、適切な年齢に適切なカゼをひいておくことは大事です。

今回のコロナ騒ぎでインフルエンザの流行がなくなりワクチン接種が重要という話を前回しましたが、その他にも「流行」がずれてしまっている病気に手足口病があります。本来夏に流行するべき病気が夏に流行できなかったので冬が来ようという今時期にまだだらだらと流行しています。これも新型コロナの影響でしょうか。

また春が来るまでしばらく家の中で過ごす時間が長くなりますが、どうか免疫力は落とさないようにお過ごしください。(令和3年11月25日)



洞爺協会病院患者サービス向上委員会

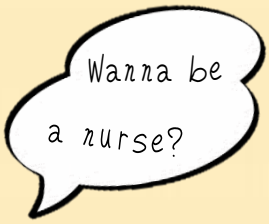
今月の飾り付け

洞爺協会病院には、看護・診療技術・在宅部門・事務からなる患者サービス向上委員会があります。委員会では投書箱の設置・アンケートの実施・院内の装飾・職員の接遇研修などを行い、患者さんの意見を取り入れながら病院一丸となってよりよい病院づくりができるよう努めています。

中でも院内の装飾は、患者さんやご家族に大変ご好評いただいています。毎月季節に合わせて行われる院内の装飾は、季節の行事が縮小されているコロナ禍においても、変わりなく入院患者さんに季節感を味わっていただきたいという思いから始められました。飾りの作成には、外来や入院中のリハビリの患者さんにもご協力いただいています。

インターンシップ
★高校生・職業体験★

洞爺協会病院では、随時インターンシップ・病院見学を行っています。
新型コロナ緊急事態宣言が明け、近隣の伊達開来高等学校、登別明日中等教育学校の生徒さんが職業体験に来てくれました。
看護師はもちろん、リハビリテーションセラピストを目指している方、薬剤師、放射線技師、検査技師を目指している生徒さんの受け入れ、奨学金制度の説明も行っています。



【体験内容例】
看護師：おむつ交換・採血・血圧測定などの模擬体験
薬剤師：調剤室内の見学・調剤の模擬体験
臨床検査科：検査の説明や、エコー検査の模擬体験
診療放射線科：検査の説明や撮影の模擬体験
リハビリテーション科：リハビリの説明と患者さんへの施術の見学
管理栄養室：食事の説明、「きざみ食」の試食、病院食の試食など

伊達開来高等学校

登別明日中等教育学校

登別明日中等教育学校

登別明日中等教育学校

当院では、高校生に限らず、看護学生さんや潜在看護師のみなさんのためのインターンシップや見学も行っています。詳しくは病院ホームページをご覧ください。お電話でもお気軽にお問い合わせください。このたびの職業体験の様子は「看護部ブログ」でもご覧いただけます ▶▶▶

看護部ブログ

令和４年１月１日発刊　洞爺協会病院 広報誌 とうやこ　vol. 11
【発行・編集】社会福祉法人北海道社会事業協会洞爺病院　洞爺協会病院広報誌とうやこ作成委員会
〒049-5605　北海道虻田郡洞爺湖町高砂町 126 番地　電話 0142-74-2555　FAX0142-74-2665

１月外来診療週間予定表

	受付時間	月	火	水	木	金
内科 消化器内科	8:30～11:30	赤松 宮本	長岡 春日(予約制)	長岡 春日 小野寺(検査)	赤松 長岡	赤松 宮本
	13:30～15:00		長岡 春日(予約制)	長岡 春日	長岡	
循環器内科	8:30～11:30		鹿島 (心臓血管クリニック)			
リハビリ科	8:30～11:30		青木		青木	
外科 消化器外科	8:30～11:30	大浦	青木	大浦	青木	大浦
整形外科	8:30～11:30 出張医は予約のみ	大浦	青木	大浦	青木 出張医 (予約制)	大浦
小児科	午後のみ※1	大鹿	大鹿	大鹿 石原※1	大鹿	大鹿
泌尿器科	8:30～11:30 13:30～15:00		出張医 (札幌医大)			
歯科 歯科口腔外科	午前・午後とも 予約のみ	平塚 神	平塚 神	平塚 神	平塚 神	平塚 神

※1 小児科大鹿受付 13:00～15:00･石原受付 14:00～16:00(石原外来毎月第１･第３･第５水曜日)
※ 土･日･祝祭日は休診です。
※ 診療時間･曜日･担当医は変更になる場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

救急は 24 時間対応します

アクセス

JR 新千歳空港駅～JR 洞爺駅（90 分）
JR 札幌駅～JR 洞爺駅（115 分）
　※洞爺駅は特急停車駅です。
虻田洞爺湖 IC から 3 分
JR 洞爺駅から徒歩 15 分

お問い合わせ

電話（代表）0142-74-2555
FAX（代表）0142-74-2665
メール　information@toya-hospital.jp
ホームページ　http://toya-hospital.jp